



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題「原点回帰 ～All for Service～」

国際会長主題	「輝かそう あなたの光を」	Urlik lauridsen (Denmark)
アジア太平洋地域会長主題	「変革のための光となろう」	利根川 恵子 (川越)
西日本区理事主題	「未来に灯そう 希望の光」	深谷 聡 (名古屋)
中部部長主題	「みんなで参画」	松本 勝 (名古屋東海)
名古屋東海クラブ標語	『限りなき熱情を奉仕に』	

———今月の聖句———

マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。
マタイによる福音書 (1章 21節)

強調月間 Christian Emphasis ・ International Brother Clubs ・ Domestic Brother Clubs

12月例会等ご案内

◎12月第1例会【クリスマス祝会】

日程：12月17日(日) 17:30~20:00

※受付開始は17:15からです。

会場：ラーススANN2F(いつもの例会場)

担当：中江正典君・山田英次君

会費：大人(メンバー・ゲストとも) 7,000円

小学生以下(席が必要な子ども) 4,000円

※一人一つ以上プレゼントをお持ち下さい。

プログラム：第1部 礼拝

第2部 祝会 会食・親睦

出欠の連絡を12/5までをお願いします

◎12月第2例会

日程：12月21日(木) 18:45~

会場：名古屋YMCA

◎忘年会(第3例会)

日時：12月28日(木) 18:30~

会場：「魚々美」(ととみ)

中区上前津2-6-3 TEL323-8258

会費：5,000円程度

◎クリスマスキャロル2023

日時：12月9日(土) 14:30~15:10

会場：名古屋駅タワーズガーデン

ボランティア集合：12:40

◎第47回クリスマスカードコンテスト

展示：12月19日(火)~24日(日)

会場：市民ギャラリー栄

東海ワイズ五つの信条

- 一、自分を愛するように隣人を愛そう
- 二、青少年のためにYMCAにつくそう
- 三、世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四、義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五、会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 11月末-在籍者19名
(内広義会員2名)

出席者 15名 (Make up0名)

出席率 88.2%

【特別ファンド】仮集計

11月のニコボックス 12,000円

現在保有額 1,285,905円

11月第1例会報告

『名古屋の和菓子について』

講師 伊藤誠敏氏

先月の卓話の内容については、当日、伊藤講師に配布していただいたレジュメの通りですが、話が進むにつれ、和菓子の歩みは日本の文化や歴史そのものであることに気づかされました。神道や仏教といった日本の伝統的宗教や茶道、各種儀式・行事からも影響を受け、永い時を経て今日ある和菓子のスタイルが形作られてきたことを知らされました。



最近の和菓子は形状や彩りがバラエティーに富み、味覚だけでなく、視覚にも訴えるものであることは皆様もご承知のとおりです。又、名古屋は尾張徳川の時から全国でも有数の和菓子どころとして知られており、我々も身近なところに由緒ある和菓子店に接することができる幸運に恵まれています。



さて、私は相当以前ですが、瑞穂区汐路にある伊藤講師が代表を務める「菓匠 花桔梗」を訪れたことがあります。その時の印象は店舗の内外装にしろ、菓子のレイアウトにしろ、非常にモダンで、洋菓子を並べても違和感を感じさせないもので、日本の伝統的な和菓子がその店舗に自然に溶け込み、伊藤代表のセンスの良さが伺えるものだったと記憶しています。



話を進めるうちに伊藤代表より会員の皆にある和菓子が提供されました（失礼ながらその菓子の名前は失念しました）。しかし、糖尿病予備軍の私はこのところ甘いものを控えていて、おいしそうな菓子を前にして、一旦躊躇しましたが、我慢できずにすぐパクリとしました。たいへん上品で甘さ控えめの味でした。

興味深い卓話といつも通りのおいしいフランス料理に加えて今回は、絶妙な味の和菓子の提供というチャンスに対し神様も許して下さるだろうと勝手に解釈して、有意義なひと時を終えました。

（柴田洋治郎）

【参加者】浅野、木村、柴田、鈴木孝、谷口、中江、永瀬、橋爪、松本、八木、山田、山村、山本、鷺尾



骨折で入院中だった浅野君が無事復帰。杖も無く、すたすた歩く姿を見て、メンバー一同大いに安心しました。

11月第2例会報告

1. クリスマスカードコンテスト協賛について
3万円の支援金を中江会長より谷口担当主事に手渡した。
2. Ys×SDGs Youth Action について
YMCAと東西日本区の協働事業が始まった。SDGsを踏まえ地域の社会課題に取り組もうとするユースの活動(Action)に資金提供その他の応援・伴走をしていくという取り組み。こうした取り組みをしていこうとするユースのチームの募集を開始した。募集期間は2023.11.15～2024.2.10迄。
3. クリスマスキャロルについて
ボランティア集合は12:40 タワーズガーデン下の駅前ロータリー。荷物の運搬設置のお手伝い。演奏は14:30～15:10
4. クリスマス祝会について
日時:12/17(日) 受付開始17:15。礼拝17:30。祝会18:00。会場:ラ・スースANN
会費:7,000円/大人、
4,000円/席が必要な子供
一人1,000円程度鶴のプレゼントを
5. 忘年会(第3例会)の件
日時:12月28日(木)18:30～
会場:魚々美(ととみ) 上前津
会費:5,000円程度
6. ロースターの必要な方は購入を(2,000円)
【参加者】浅野、太田、谷口、中江、橋爪、松本、山田、山村、鷺尾



第30回インターナショナルチャリティーラン2023

秋晴れの心地よい気候の11月4日(土)にチャリティーランが実施されました。

30回目の記念大会となった今大会は個人135名、チーム35チームの計345名のランナーと応援、そして運営ボランティア・スタッフ総勢800名を超える人が集まりました。



コロナ禍では参加を自粛されていた団体や企業の皆様にも久しぶりにご参加いただき、また個人レースでは過去最多の参加人数となりました。

東海ワイズメンズクラブからご支援いただきました2チームは、支援の必要な子どもたちのチーム「サポート体育 こてこて」と南山で体操やサッカー・バスケットボールに参加している子どもたちのチーム「チーム太陽」として出場させていただきました。



仲間と共にタスキを繋ぎチームとしてして走る喜びを参加者・保護者共に感じていただける機会となりました。また、ご提供いただきました飲料水もランナーの皆様にご提供させていただきました。本大会に際して多くのご支援とご協力を心から感謝いたします。(谷口みはる)

国内バスケットボールの現状

鷲尾 文夫

2023 年はワールドベースボールクラシックに、サッカー女子ワールドカップ、世界陸上、ラグビーワールドカップなど、国際スポーツ大会が多数開催されました。

特に今夏、日本が自力で 48 年ぶりに 24 年パリ五輪出場権を獲得したバスケットボールワールドカップは、国内開催で大いに盛り上がりを見せました。TV である逆転劇を観ていた方も多かったのではないのでしょうか。

今回は、国内バスケの現状について、スポーツビジネスやクラブ関連業務に従事していた私の娘婿に聞いた話から、男子プロバスケットボールリーグ、B リーグを中心に記載します。

10 月に今季の B リーグが開幕してから 1 ヶ月経過しました。B1 の平均入場者数は 4,398 人で、昨季よりも約 1,000 人以上も上回る結果が出ています。

ワールドカップでの盛り上がりがリーグの集客に一時的に反映されることはよくありますが、未だに開幕レベルを維持している点が凄いです。このまま今の状況が続けば、過去最高を記録した昨季の 320 万人から 100 万人も上回る見込みとなります。



もちろん、ここからファンとして囲いこみ、持続的に来場してもらえるかどうかが大変になりますが、国内スポーツにおいて市場のポテンシャル

が大きい点が引き続き集客を後押ししてくれるのではないのでしょうか。

人口減少が進んでいる現代社会と反比例する形で、20 歳以上の年 1 回以上のバスケットボール人口が約 20 年間で 70 万人近く増加しています (2022 年で 237 万人。笹川スポーツ財団 スポーツライフに関する調査報告書より)。

さらに 3 年後の 2026 年に始まる B リーグの改変による影響も大きいと思います。今のトップカテゴリー「B1」にかわり、「Bプレミア」が始まります。

Bプレミアは 1 年目に最大で 18 チームを参入目安にしており、経営面で三つの基準を満たしたチームが集まります。

参入基準は「ホーム戦の 1 試合平均観客数 4 千人」と「売上高 12 億円」をそれぞれクリアし、「充実したアリーナ」をホームゲームで使えるようにすることが求められます。

観客数と売り上げは B リーグの昨季と今季が審査の対象となっていることもあり、ワールドカップの盛り上がり絶好機とみなして、注力しているクラブも多いと思われます。

愛知県でも、名古屋ドルフィンズの愛知国際アリーナ(2025 年)に、アイシン安城工場跡地を活用するシーホース三河(2026 年)、みなとアクルスを活用するファイティングイーグルス名古屋(2026 年)の 3 クラブが、すでに「充実したアリーナ」の基準も満たすべく、新アリーナの建設を進めています。

市場ポテンシャルと、3 年後の B プレミア参入を目指したクラブ/企業の努力に、ワールドカップ効果も掛け合わせ、今後の国内バスケはまだまだ盛り上がっていくのではないのでしょうか。

名古屋に新アリーナが出来るのは早くて 2025 年。それまでに行かないのももったいない。ご存じのように、バスケットボールは YMCA が発祥のスポーツです。

我々ワイズメンも、まずは一度、名古屋での試合を観に行ってみませんか。